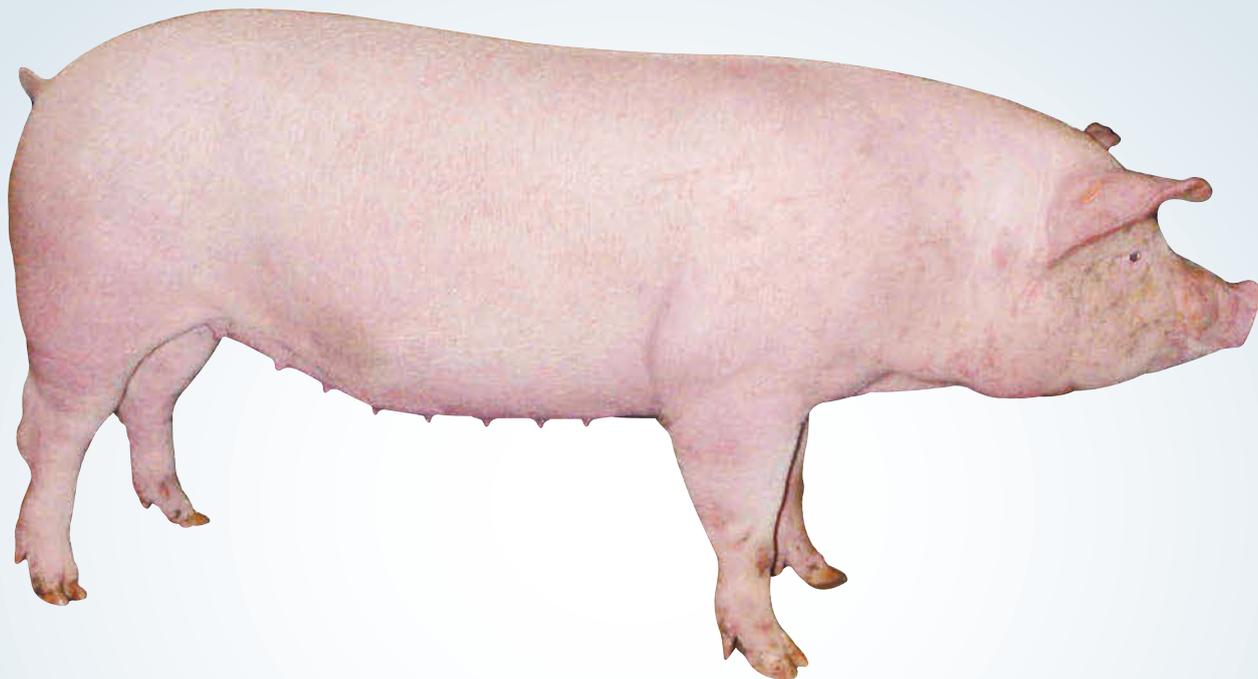


多様な環境でも能力発揮 ケンボロー[®]35

日本オリジナル種雌豚



種 豚



飼いやすさ

高い繁殖能力

連産性

特長

日本市場をターゲットとし、高い繁殖性と飼いやすさの両立を目指して開発された日本独自の種雌豚です。

母豚は高い繁殖性と強健性、連産性を持っているだけでなく、生産される肉豚は増体・要求率に優れています。

各地域の特性やヘルステータスの違いといった様々な条件にも適応し、効率の良い肉豚生産をすることが可能です。

2015年からの販売開始以来、この日本オリジナル種雌豚は全国の農場でその能力を発揮するとともに各地で生産された豚肉が銘柄化されています。

Iwatani

イワタニ・ケンボロー株式会社

イワタニケンボロー

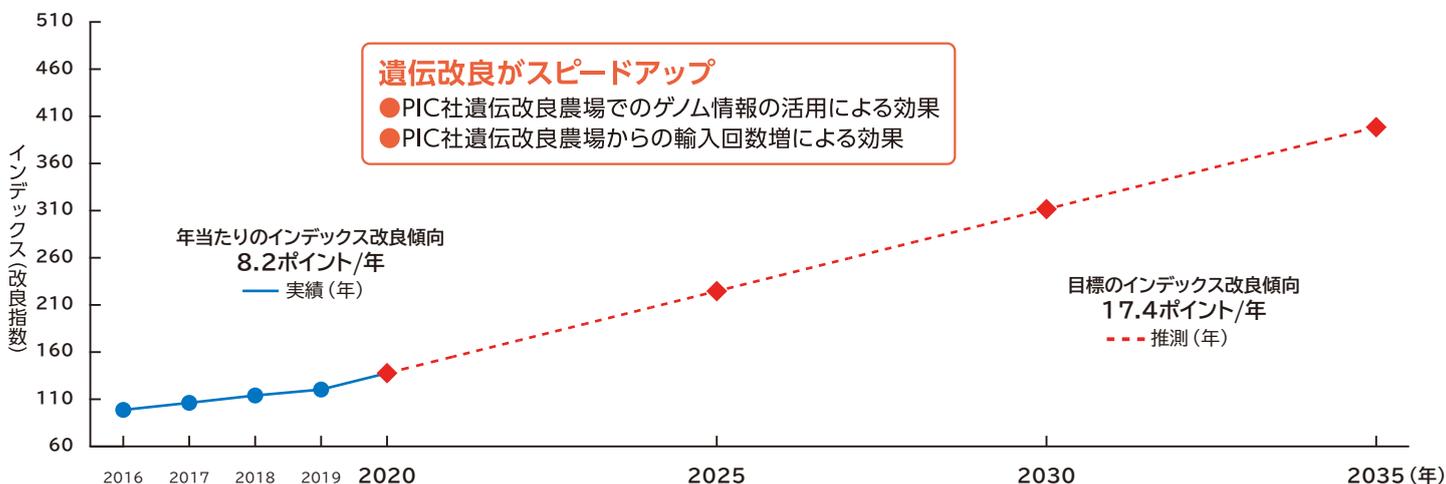
検索

<http://www.camb.co.jp>

日本での成績 国内A農場 (ケンボロー®35×PIC®380)

期間	母豚規模	1腹当たり 総産子数	1腹当たり 離乳頭数	1母豚当たり 年間離乳頭数
2018年1月～2018年12月	330	15.5	12.6	30.9
2018年9月～2019年8月	350	15.7	13.0	31.9

ケンボロー®35の遺伝改良傾向



[実績と遺伝改良傾向からの推測値] 2019年までの最新遺伝傾向による推測です。

実績値と推測値	2017年実績値	2018年実績値	2019年実績値	2020年推測値	2025年推測値	2030年推測値	2035年推測値
1腹あたりの 総産子数	15.70 ^{※1}	15.70 ^{※1}	15.67 ^{※2}	16.16	17.37	18.59	19.81
過去の推測値	2017年推測値	2018年推測値	2019年推測値	<small>※1:日本国内ケンボロー®35使用農場Bの月平均値(実測値2017年1月～2017年12月、 2018年1月～2018年12月) ※2:日本国内ケンボロー®35使用農場Cの月平均値(実測値2019年1月～2019年12月)</small>			
1腹あたりの 総産子数	14.65	15.89	15.92				

最新の優れた遺伝子をお届けするために

PIC社は、世界の遺伝改良農場から集まってくる膨大な成績をデータシステム『PIC Traq™(ピクトラック)』へ集約して遺伝改良に反映させています。

さらに改良の正確性、スピードを高めるためにコマーシャル農場レベルの遺伝的評価をフィードバックする『GNXプログラム』の採用や最新技術によるゲノム情報の解析結果を選抜に取り入れています。

お客様の農場で最高の成績を出すために日々遺伝改良を続けています。

詳細は、弊社種豚専門スタッフにお問い合わせください。適切なアドバイスとご提案をさせていただきます。

●総販売元・お問い合わせ先

Iwatani

イワタニ・ケンボロー株式会社



本社／東京事務所	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町3-11 日本橋SOYICビル3階	TEL.03-3668-5360 FAX.03-3668-5368
札幌事務所	〒060-0908 札幌市東区北8条東3-1-1 宮村ビル304号	TEL.011-807-8261 FAX.011-807-8262
東北事務所	〒020-0874 岩手県盛岡市南大通1-8-7 CFC第1ビル5階	TEL.019-604-6888 FAX.019-626-1095
大阪事務所	〒541-0053 大阪市中央区本町3-4-8 東京建物本町ビル8階	TEL.06-6264-2929 FAX.06-6264-3068
九州事務所	〒880-0806 宮崎市広島1-18-7 大同生命宮崎ビル10階	TEL.0985-23-5543 FAX.0985-23-5561